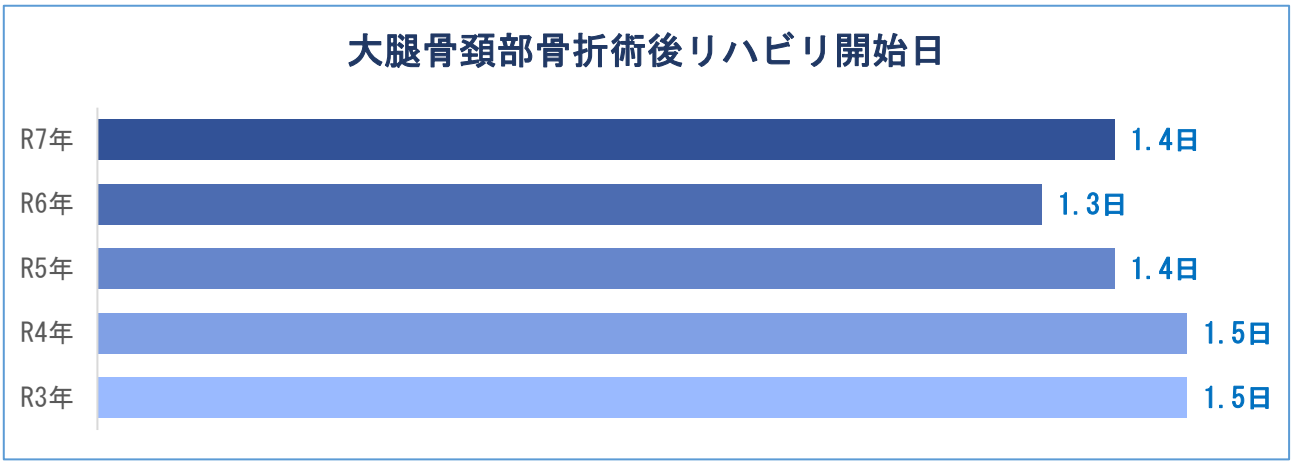
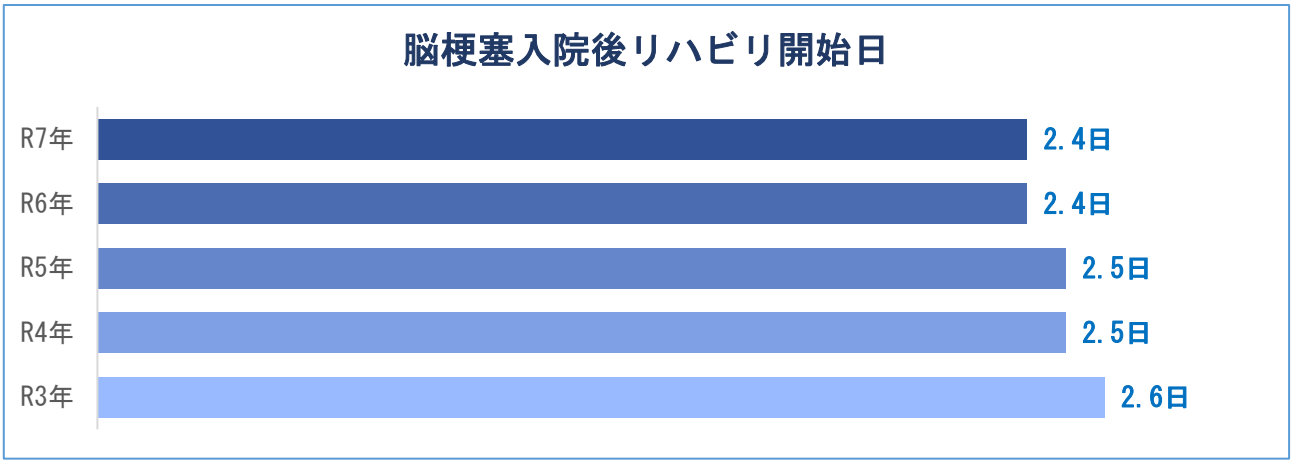
部門に関する臨床指標

指標名			R3年		R4年		R5年		R6年		R7年		説明
薬剤関係	服薬指導施行率(単位＝件/%)		14,555件	61.7%	14,863件	68.7%	12,881件	64.0%	13,163件	61.1%	13,592件	52.7%	入院患者さんに対し、お薬の副作用に関する説明や服薬方法等の説明を薬剤師が説明している比率です。 服薬指導施行患者数 ÷ 総退院患者数 ※総退院患者数は1/1-12/31の延べ人数
	無菌製剤処理施行数(単位＝件)	入院	12,319件		11,342件		13,118件		14,025件		14,743件		クリーンベンチ、安全キャビネットを使用し、薬剤師が調製している注射薬の数です。
		外来	13,671件		14,693件		15,159件		16,294件		15,763件		
検査関係	検査件数(単位＝件)		2,966,146件 (輸血 8,384件含む)		3,132,224件 (輸血9,700件含む)		3,389,032件 (輸血9,533件含む)		3,217,786件 (輸血9,172件含む)		3,362,389件 (輸血9,607件含む)		検査件数とは心電図や血糖、尿検査など一つ一つの検査項目の検査総数です。輸血件数とは輸血を行った患者さんの総数です。
	採血患者数(単位＝人)		94,814人		98,593人		100,010人		102,876人		105,429人		検査室で採血を行った患者さんの数です。
栄養関係	栄養指導　個人指導数(単位＝人)		2,550人		2,570人		2,392人		2608人		2175人		個人指導数は、入院栄養食事指導と外来栄養食事指導の総数です。集団指導は、糖尿病教室、腎臓病教室、透析教室、母親学級、人間ドックでの健康教室があります。
	栄養指導　集団指導回数(単位＝回)		204回		209回		231回		229回		188回		
	栄養指導　集団指導人数(単位＝人)		775人		837人		881人		865人		896人		
	栄養指導　病棟訪問数(単位＝人)		346人		364人		545人		780人		812人		
リハビリテーション関係	理学療法　取扱件数(単位＝件)		50,388件		48,079件		51,705件		52,838件		53,522件		急性期におけるリハビリテーションの目的は、いわゆる寝たきりや合併症の予防･改善にあります。 ※単位とは、リハビリテーションの時間を表す単位であり、20分を一区切りにしています。
	理学療法　単位数(単位＝単位)		59,542単位		55,650単位		60,084単位		56,702単位		59,604単位		
	作業療法　取扱件数(単位＝件)		24,047件		26,048件		24,901件		26,123件		24,729件		
	作業療法　単位数(単位＝単位)		27,812単位		29,593単位		27,706単位		25,166単位		25,511単位		
	言語療法　取扱件数(単位＝件)		12,207件		11,890件		11,888件		14,001件		13,602件		
	言語療法　単位数(単位＝単位)		8,555単位		6,719単位		4,863単位		5,154単位		4,790単位		
	大腿骨頚部骨折術後 リハビリ開始日(単位＝日)		1.5日		1.5日		1.4日		1.3日		1.4日		股関節大腿近位骨折に該当する入院手術症例における運動器リハビリテーション開始日までの術後平均日数。術日を起算日(0日)として計算しています。
	脳梗塞入院後リハビリ開始日(単位＝日)		2.6日		2.5日		2.5日		2.4日		2.4日		脳梗塞に該当する入院症例における脳血管疾患等リハビリテーション開始日までの入院平均日数。入院日を起算日(1日)として計算しています。
放射線関係	放射線検査数(単位＝人)		115,086人		118,641人		124,339人		124,611人		127,786人		
	がんに対する(リニアック)照射療法総数 (単位＝件)		10,648件		8,312件		8,472件		8,614件		9,293件		リニアックとは、放射線治療の一つで、高圧の電場で加速した電子を金属の標的にぶつけてX線を発生させ、そのX線を人体に当てて治療を行うことです。診断用のX線装置に比べ、発生するX線のエネルギーが遙かに高いので、身体の深部まで放射線が届きます。

６）部門に関する指標



股関節大腿近位骨折に該当する入院手術症例における運動器リハビリテーション開始日までの術後平均日数。術日を起算日（0 日）として計算しています。



脳梗塞に該当する入院症例における脳血管疾患等リハビリテーション開始日までの入院平均日数。入院日を起算日（1 日）として計算しています。

不動・廃用症候群を予防し、早期の日常生活動作向上と社会復帰を図るために、十分なリスク管理のもとにできるだけ早期から積極的なリハビリテーションを行うことが重要となります。